

回
覧

坂井地区保護司会報

ひまわり

ひまわりは太陽に向かって強く伸びやかに花を開く。法務省提唱の「社会を明るくする運動」のシンボルでもある。非行や法を犯した人たちも、ひまわりのように太陽をしっかりととらえて明るく強い人間性を培ってほしい。

《発行人》坂井地区保護司会 会長 日 芳 達 也

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間ボランティアで、保護司法に基づき活動しています。犯罪や非行のない地域社会を築くため、「社会を明るくする運動」を行っています。

社会を明るくする運動 坂井市推進大会

令和8年7月11日「たかむく古城ホール」において、「第76回社会を明るくする運動坂井市推進大会」が開催されました。

7月は、“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の子カラ～の強調月間であり、その皮切りとして毎年開催している大会です。

大会では、内閣総理大臣からのメッセージがVTRで紹介され、山崎福井保護観察所統括保護観察官から池田市長と前田市議会議長にメッセージ文書が伝達されました。

また、市内中学2年生を対象に募集した「社会を明るくする運動作文コンテスト」において厳正な審査の結果、選ばれた最優秀賞1点と優秀賞4点の表彰を行い、あわせて朗読を行いました。

特に最優秀賞の「やり直せるってすごく大切なこと」と題した朗読では、過ちを犯した人を責め、人格を否定するのではなく、立ち直ろうとする気持ちに寄り添い、励ましの言葉をかけることが大切。立ち直りは、一人では難しく、周りの支えや信じてくれる人の存在が必要だと、ご自身の経験から力強く語っていました。

会場の参加者の皆さんも、誰もが「過ちを犯してもやり直せる社会」を実現するため、一人ひとりが「支え」の存在であることを再認識する大会となりました。

「いなくなったの」「かたいけの」

復活大作戦

坂井地区保護司会 会長 日 芳 達 也

幼少の頃、坂井町にある母の実家によく遊びに行きました。祖父母が畑仕事をしていると近づいてきた人が、「いなくなったの」「かたいけの」と言うのをよく耳にしました。この挨拶が今もしっかりと記憶に残っています。「今日もお元気なあなたに会えて良かったです！」と思いきや、その言葉が相手への存在を認める、なんと素晴らしい言葉でしょうか。半世紀以上も前のことを語っても現在の社会情勢や生活様式には全くフィットしないことは重々理解しております。「小さな親切、大きなお世話」などと言われ、「隣人を思いやる心」の持ち主たちは徐々に社会から減っていったように思います。生活の中で近くに相談できる人がいたら、助けてと言ってくれる人がいたらどうだったでしょう、あんな悲しい思いをしなくて良かったのではないのでしょうか。そんな事例は少なくありません。

「更生保護」が目指すのは、道を外してしまった人の立ち直りを支える、犯罪や非行のない安全で安心な社会を築くことです。更生保護は「特別な人が行う特別な活動」ではありません。「誰もが失敗してもやり直せる、再犯を防ぐことが自分たちの町の安全・安心につながる」とご理解いただき、皆さんがそれぞれの立場でできることをしていただくことを考えております。

「隣人を思いやる心」が今もあの時代と同じように受け継がれていたらどうでしょう。「生きづらさ」を感じている人が多くなっている今こそ、耳にすることがなくなっていた「いなくなったの」「かたいけの」復活大作戦ではないでしょうか！

令和8年 社明大会当日の様子を動画でお届け中！
坂井市YouTubeをチェック！

立ち直りのきっかけ

福井保護観察所 所長 柳 沢 真希子

私達保護観察所や、保護司を始めとする更生保護ボランティアの方々には、大切にしている考えがあります。それは、人と人との温かな関係性の中でこそ、人は変わっていくことができるというものです。そのため私達は、彼らの話に耳を傾けることを心掛けています。ただ、彼らが勇気を振り絞って本音を話してくれたとき、そこにあるのが失望や諦めの表情だったとしたら、彼らは率直な思いを語ることがためらうようになってしまいかもしれません。彼らが直面している課題を知るため、また、つらさに寄り添う機会を見失わないため、彼らにとって安心して話のできる存在でありたいと思いつつ、一人一人と向き合っています。

人が変わっていくというのは容易なことではありません。地道に努力する中から周囲の信頼を得ていくには時間が必要です。自信と希望を持つてこの先の人生を生きていく気持ちを育むには、多くの人の支えが欠かせません。頑張り認めて励ましてくれる人、つらいときにそっとそばにいてくれる人と出会うことができれば、変わっていくことができる人はたくさんいます。どうか、彼らが一歩を踏み出すことができるよう、できる範囲でお力添えをお願いいたします。その一つの方法として、まずは地域の中で彼らを支えてくださっている保護司の存在に目を向け、御支援いただければ幸いです。

福井保護観察所 所長 柳 沢 真希子

更生保護 サポートセンター坂井

更生保護にすること、犯罪予防、再犯防止、罪を犯して社会復帰した人やその家族等の困りごとの相談などお気軽に來訪・電話ください。

月曜日から金曜日（祝祭日は除く）
午前10時から午後3時まで
企画調整保護司が常駐しています。

〒919-0522 坂井市坂井町上新庄28-5-3
坂井健康センター2階
電話：0776-43-1371 FAX：0776-43-1372
E-mail：kouseihogo-sakai@shore.ocn.ne.jp

犯罪や非行を防止し立ち直りを支える地域の子カラ

『協力雇用主』を募集しています。

〈雇用主会員としての想い〉人は振り返れば皆、それぞれの環境で育ち、いろいろな人との出会いがあって、その出会いの差が、自身の今に、かなりの影響を受けているのではと今さらながらですが、私の想いです。

もし、図らずも横道にそれてしまい、将来の自身に迷いがあるならば、少しでも希望が持てるように微力ながら日々の仕事の楽しさと仕事の技術習得の手伝いができれば、嬉しく思います。そして、対象者の人たちのため、職業の選択肢が多くなるよう雇用主会への参加をお願いします。

協力雇用主会長 増田 敏夫

【連絡先】坂井地区保護司会
坂井地区協力雇用主会

〒919-0522 坂井市坂井町上新庄28-5-3
坂井健康センター2階
TEL.0776-43-1371 FAX.0776-43-1372

編集後記

保護司や更生保護の活動は、犯罪や非行をした人の立ち直りを支えるだけでなく、安全で安心して暮らせる地域づくりにつながる大切な活動です。今回はより多くの市民の皆様に知っていただくための、各市区で行われている身近な活動も掲載しました。この会報をきっかけに、更生保護を「自分たちの地域のこと」として感じていただければ幸いです。今後とも温かいご理解とご協力をよろしくお願い致します。

（高原）

新任保護司

（敬称略）

よろしくお願ひします。

高柳 孔周 （坂井町）
岡崎 青史 （春江町）
丘 宗宏 （春江町）
出村 栄二 （春江町）

退任保護司

（敬称略）

ご苦労様でした。

奥野 敏明 （三国町）
萬道 浩子 （三国町）
島田 壽子 （丸岡町）
佐藤 日出子 （春江町）
久光 遵子 （坂井町）

社会を明るくする運動 作文コンテスト



- 応募総数 七五六点
(坂井市内中学校二年生)
- 最優秀賞 「やり直せるって すごく大切なこと」
三国中学校 治村 莓果さん
- 優秀賞 「私にできる 社会を明るくする運動」
丸岡中学校 下出 璃望さん
「無意識の壁と向き合う」
丸岡南中学校 鈴木 詩望さん
「あの日の励ましを 次の誰かへ」
春江中学校 辻岡 聖愛さん
「あなたのその行動大丈夫？」
坂井中学校 齋藤 奏望さん
- 佳作 二十点

私は今まで、「悪いことをした人」に対して、あまり良いイメージをもっていませんでした。ニュースで事件を見るたびに、「なんでそんなことをするのだろう」「怖いな」と思っていました。そして、一度悪いことをした人は、ずっと悪い人のままなのだ、どこかで決めている気がします。

でも、学校や家での出来事を通して、私は少しずつ考え方が変わりました。「人は失敗をしても、変わる事ができるんじゃないか」と思うようになったのです。

小学校の頃に、よく騒いでしまう男子がいました。授業中にしゃべりをして、周りから「またあの人だ」という目で見られていました。私も最初は、「関わりたくないな」と思っていました。

ある日の掃除の時間、その男子が一人で重い机を運んでいるのを見ました。みんなは気づいていないふりをしている、私も最初はどろろと放っておけなくて、「手伝おうか」と声をかけました。

すると、その男子は少し驚いた顔を、「ありがとう」と小さな声で言いました。その時は、少しだけ意外に思いました。普段は強そうに見えるのに、その声はどこか寂しそうだったからです。

その後少し話してみると、「どうせ自分なんか、何しても嫌われるし」と笑いながら言っていました。でも、その笑い方は、無理をしているように見えました。私はその言葉が、ずっと心に残っています。

人は、周りから「ダメな人」と思われ続けると、本当に自分はダメなのだと思うってしまうのかもしれない。そして、「どうせ嫌われるなら」と投げやりになってしまふこともあるのではないかと思います。

もちろん、人に迷惑をかけたり悪いことをしたりするのはよくないことです。でも、その人の行動だけを見て、「最低な人」と決めつけてしまうのは違うのではないかと感じました。

私は他にも、似たようなことを感じた経験があります。

ある日、兄が親に嘘をついて

ゲームをしていました。見つかった後、兄はすごく怒られていました。私は最初、「嘘をつくのが悪い」と思っていました。でも、その後兄が一人で泣いているのを見ました。

母は最後に、「次から正直に話してくれればいいんだよ」と言っていました。その言葉を聞いた時、私は少し安心した気持ちになりました。

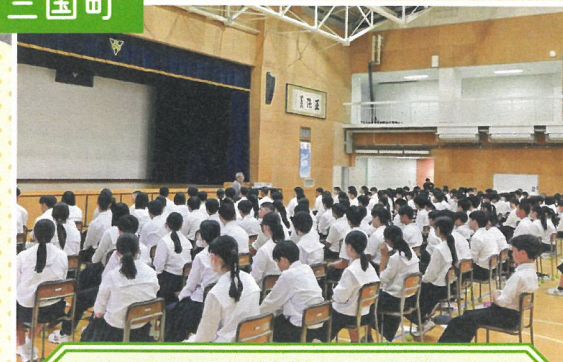
もし、「もう信用しない」「最低」と言われ続けていたら、兄はもっとと苦しくなっていたかもしれない。失敗をした後に、「次は頑張ろう」と言ってもらえることは、とても大切なことだと思います。

私は、「立ち直る」というのは、一人では難しいことだと思っています。周りの支えや信じてくれる人の存在が必要なのだと思います。

私は、「社会を明るくする運動」について考えて、人は失敗をしてもやり直せることが大切だと思いました。最近SNSなどで誰かの失敗を強く責める人もいます。でも、人は失敗だけで決まるわけではなく、反省して変わろうとする気持ちも大切だと思います。だから私は、失敗した人をすぐに見放すのではなく、もう一度頑張ろうとしている人を支えられるような社会になってほしいと思います。私も周りに流されず、人を思いやれる人になりたいです。

各地区の社会を明るくする運動

三国町



- 5/28 ひまわり教室 三国中学校
- 7/1 あいさつ運動 三国中学校
- 7/11 啓発活動 ショッピングセンター

丸岡町



- 7/8 あいさつ運動 丸岡中、丸岡南中学校
- 7/11 啓発活動 ショッピングセンター
- 7/24 更生保護女性会による啓発活動 人形劇 わっかこども園

過去を変えることはできない でも、あなたの未来は笑顔でつくれる

- 更生保護とは、罪を犯した人が安心して社会復帰できるように支える取組です。
- 保護司は、この人たちが社会復帰に挫折し再犯に至らないように、寄り添い・援助する人たちです。



イエローライトアップ
黄色は更生保護のシンボルカラーです。
「幸福の黄色い羽根」やヒマワリの色に由来します。



市子ども文化祭にホゴちゃん登場！
社会を明るくする運動って何？
君にできる更生保護って何かな？

春江町



- 7/11 啓発活動 ショッピングセンター
- 7/17 あいさつ運動 春江中学校

坂井町



- 7/1 啓発活動 丸岡駅
- 7/1 更生保護教室 兵庫小学校
- 7/6 あいさつ運動 坂井中学校